



つばめの杜保育所餅つき

第4回定例会

会期12月5日
～12月12日

第3回臨時会

会期12月24日

目次

●定例会概要	P2
○一般質問（質問議員6人）	P3～9
●その他の議案・臨時会	P10
○委員会報告	P11
●議案審議結果	P12
○会議等出席状況	P13

令和7年 第4回定例会

一般質問 我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 丸子 直樹 議員 P 4
- ★1 山元町におけるクマ目撃情報と調査・情報提供体制について
 - ★2 町管理路線における雑草対策の強化と地域協働による防草対策等について
- 大和 晴美 議員 P 5
- ★1 都市計画マスタープランの改定に伴う関連事項について
 - ★2 クマ対策について
- 齋藤 俊夫 議員 P 6
- ★1 約束を守る健全な町政運営について
- 岩佐 秀一 議員 P 7
- ★1 農業振興地域整備計画の進捗状況について
 - 2 元坂元中学校跡地の事業進捗状況について
 - ★3 子育て世帯への支援について
- 伊藤 貞悦 議員 P 8
- ★1 公共施設（含む学校）等の衛生管理について
 - ★2 児童・生徒の学校生活の現況について
- 遠藤 龍之 議員 P 9
- ★1 国民健康保険事業の取り組みについて
 - ★2 町営住宅の取り組みについて
 - 3 クマ対策について

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。
掲載項目以外の内容の詳細は、右の二次元バーコードから録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは

町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

表彰者紹介

おめでとうございます

旭日双光章

阿部 均氏（中山区）



町議会議員を6期にわたり努められ、また、平成23年から令和元年までの8年間は議長として、東日本大震災という未曾有の大災害からの復旧・復興に係る議会運営を、的確かつ力強く行われた功績を評価され、この度叙勲の栄に浴されました。

議会議員在籍期間（24年6月）
平成11年5月1日～

令和5年11月12日

○定例会概要

第4回定例会は12月5日から12日まで8日間の日程で開催されました。

今回の会議では、町長から提案された議案12件（条例6件、補正予算5件、その他1件）のほか、第3回定例会から継続審査としていた条例1件を審議し、すべて原案の通り可決しました。

また、6人の議員が、今後のまちづくりや町政運営について一般質問を行いました。その内3人がクマ対策に関する質問を行うなど、クマに対する注目が集まった定例会となりました。

○一般会計補正予算概要

一般会計予算においては、人事院勧告等に伴う人件費等の改定と、深山山麓少年の森の改修工事費（じゃぶじゃぶ池）や山元町デイサービスセンター「知楽荘」の修繕費用を計上したほか、自立支援介護訓練等給付費、町内各排水機場の電気料金増額により不足が見込まれることから、必要額を予算化しました。

○主な補正予算事業

- ・老人福祉施設整備費負担金（知楽荘） 153万円
- ・自立支援介護訓練等給付費（利用者の増） 2,803万円
- ・深山山麓少年の森改修工事（じゃぶじゃぶ池） 500万円



改修を待つじゃぶじゃぶ池

○令和7年度 各種会計補正予算一覧表

（単位：万円）

会 計 名	補 正 額	総 額
一 般 会 計	1億1,481万円	86億6,504万円
国民健康保険事業特別会計	1,117万円	17億2,710万円
介護保険事業特別会計	2,800万円	16億4,100万円
水 道 事 業 会 計	564万円	5億3,250万円
下 水 道 事 業 会 計	2,141万円	11億 249万円



クマ出没の状況と対策は

町長 安全最優先で対応進める

問 本町におけるクマ出没の状況と、人的被害及び農作物被害の有無は。

答 令和7年度は8件の目撃情報が寄せられているが、久保間地区での1件を除き、現地でクマと断定できる痕跡は確認されていない。また、町内において人的被害及び農畜産物被害の報告は、現時点ではない。

問 現地確認の体制及び手順はどうか。

答 職員、鳥獣被害対策実施隊員及び警察官が現地に向き、足跡、糞、食痕などを専門的知見により確認し、イノシシなどの判別を行っている。証拠となる画像の保存及び共有も行い、検証を重ねている。

問 調査結果の住民周知の改善について、町の考えは。

答 現在は、防災行政無線及びスマートフォ

ンアプリにより目撃情報を周知している。今後は、目撃情報と調査結果を一覧化し、町ホームページで公開する。また、広報誌による掲載についても検討する。

問 猟友会などの連携及び安全確保の取り組みは。

答 第一線で活動する隊員の安全を最優先とし、クマ撃退スプレーの配備などを進めている。引き続き、警察及び関係機関と連携し、体制強化と人身被害防止に取り組む。



な お き
丸 子 直 樹 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

国道から東街道までの道路整備は

町長 この提起は大切だと認識している

問 令和7年7月から町公式LINEによる不具合通報ができるようになった。住民通報を道路補修計画に反映する仕組みは。

答 早急に現場を確認し、緊急度や重要度を判断しながら適切な対応に努める。

問 通学路の点検結果は。

答 毎年、定期的に点検を実施してきた。町道東街道線の鷺足区から山寺区までの歩道整備について、令和7年

度から測量調査業務に着手した。

問 ガードレール設置などの整備計画は。

答 地区からの要望を受け現地確認を行い、危険性を把握した上で、ガードレールなどの防護柵の設置を計画的に実施している。

問 国道から東街道までの道路を拡張する整備計画はあるのか。

答 歩道がない路線が多く、整備の必要性は理解しているが、現地点では具体的な計画は

定めていない。

問 将来的に道路拡張の整備計画は考えられないか。

答 津波においては国道6号より西側の高台避難となっている。真庭に向かう道路は計画になっていないが進んでいる。今回の提起は大切だと認識している。



は る み
大 和 晴 美 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

町民をクマから守るための対策は

町長 目撃情報を防災無線ですぐ提供する

問 小・中学生をクマから守るため、学校ではどのようなマニュアルが整備されているか。

答 県からの通知に基づき作成したもので、遭遇時の行動指導や校内待機の判断基準、関係機関との連携などが記載してある。

問 具体的な対策は。

答 遭遇時の指導などを学校で実施し、目撃情報があった場合には、保護者へのメール配信による情報提供を行う。

問 町民をクマから守るため、どのような対策がなされているか。

答 1段階として被害の未然防止のため、被害防止策の周知、2段階として目撃情報が寄せられた場合、防災行政無線により迅速に注意を呼びかける。3段階としてクマ確認の場合を想定し、緊急銃猟制度に基づく対応をしている。



町道の雑草対策強化を

町長 地域連携で進める

問 町道や公共地における雑草繁茂の現状と管理方針は。

答 道路の安全性及び景観確保の観点から、維持管理業者及び職員による巡視を行い、住民からの通報も踏まえて除草作業を実施している。近年は猛暑などの影響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じている。

問 地域との協働体制の現状と評価は。

答 行政区による環境美化活動や、多面的機能支払交付金を活用した取り組みが行われており、町としても

大変ありがたいと考えている。今後も協力関係の構築に努める。

問 防草技術の活用に対する考え方は。

答 舗装、防草シート、除草剤散布などの手法について、費用対効果や周辺環境への影響などを踏まえ、適切な活用方法を検討している。

問 今後の方針は。

答 町直営、委託及び地域協働を相互補完し、効率的な道路維持管理に取り組む。併せて、適期除草の重要性についても周知していく。



町道管理の課題

問 スマホ情報アプリ「@Info Canal」をもっと周知する考えは。

答 いろいろな手法を使い広報して、周知したい。

問 目撃情報を町民に提供する場合に具体的な場所を示す考えは。

答 すぐわかるような住所、場所、目印を発信したい。

必ず実現するとした公約の達成は

町長 全部はできないことを認めたい

問 公約19項目のうち達成が16、達成急ぐを3としているが、外部要因で断念したものを達成とし、一部達成を全て達成とするのは理解できないが。

答 であれば達成とせずにする。

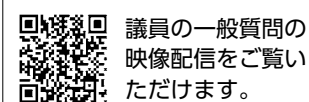
問 危機管理部署の設置、地域包括センターの外部委託見直しは、担当課長説明で断念しながら達成とするのは無理筋では。

問 国保基金を活用し健診無料化を1つ増やしたが、国保とは異質で何ら手掛けている介護保険料免除を含め、全部達成とするのは無理筋では。

答 このような形で進めていることに対して落胆し、私に対してそういう思いを持つているのではないかと思う。



議員 藤 俊夫



問 公約達成は一部達成を含め19項目中5項目、達成率は30%にも満たない。公約は任期内にできる事を掲げた



答 全部はできないことを認める。

問 地元紙の「市町村長手腕点検」ではビジョンが見えないとの指摘だが、町の将来像は。

答 細かいビジョンは今後考えたいが、町を大都会にするつもりはなく、仙台市に近いので、のんびりした田舎暮らしのできる町づくりが私の夢である。

農業振興地域の見直し状況は

町長 今後の土地有効活用を見据える

問 令和6年3月から、農用地区域除外などの受付を休止していたが、12月1日から再開された。その周知方法は。

問 除外区域となった、「山元南インターチェンジ」周辺の土地活用を町発展の起爆剤に検討してはどうか。

現時点では町として具体的な方針や計画は策定していないが、利便性の高い地域であることから、利活用については、今後の検討課題である。

答 県の同意を得て、町のホームページ、広報12月号及びホームページに掲載し、周知している。

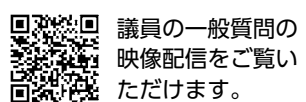
答 当該区域は、高速道路などの整備に伴い農地が分断されるなど、農地に適さない区域であることや、国道6号に直結する県道角田山元線に接する交通に恵まれた環境にあることから、今後の土地有効活用を見据え、農用地域から除外している。

問 将来構想として、周辺市町である「丸森・角田・新地」と協力して開発する考えはないか。

答 町全体のバランスを取りながら考えていく。



議員 岩佐 秀一



問 農業振興地域エリアの見直し状況は。

答 山元東部地区農地整備事業区域を農用地区域に編入し、山間地や土地が荒れている小規模な農地を区域から

問 将来構想として、周辺市町である「丸森・角田・新地」と協力して開発する考えはないか。

答 町全体のバランスを取りながら考えていく。



少ない通学生

通学費を助成する考えはないか

町長 実施について調査・研究する

問 高校の無い北海道南幌町では、通学費助成金として月最大1万円を助成している。本町も高校が無く、子育て世帯の通学費負担が多いことが、少子化要因の一つと考えられる。

答 南幌町も本町と同様に高校が無く、保護者の経済的負担軽減と教育機会の確保を目的に、通学費の助成を行っている。

問 来年度から高校授業料が無償化されると、高校の無い山元町住民は、他市町村との通学費格差が生じるので検討すべきである。

答 支援をするということであれば、今後の課題である。

その他の質問

元坂元中学校跡地の事業進捗状況について。

公共施設トイレにペーパータオルを

町長 流行状況に応じ適切に対応する

問 公共施設トイレからペーパータオルが撤去された理由と、今後の対策は。

答 コロナの流行時、菌の飛散防止のため、国から公共トイレに設置されたハンドドライヤー使用を控えるよう通達があり、一時的にペーパータオルを設置した。

問 コロナが5類感染症に変更されたので、ドライヤー使用を再開した。

答 除菌目的のアルコールなどを設置しているの、除菌ティッシュは考えていない。便座シートは衛生上の観点から難しい。暖房便座やウォシュレットの設置率は、便座が100%、ウォシュレットは83%となっている。未設置施設は改修計画や財政などを踏まえ導入を研究する。

問 コロナやインフルエンザまん延防止対策として、児童生徒や乳幼児が利用できるように、マスクの設置や配布の考えは。

答 令和5年3月から国の方針により、マスクは個人の判断での着用が基本となった。マスクが品薄の際は配布したが、現在はマスクの入手も容易である。マスク着用は個人の判断であることから、個人で準備いただきたい。

問 コロナやインフルエンザの予防接種費用支援の拡充は。

答 コロナの予防接種は令和7年度から国の費用助成が廃止された。接種者の負担増を避けるため、支援金額を引き上げた。



議員 伊藤 貞悦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

また、令和3年度から中学3年生と妊婦に対し、インフルエンザ接種費用の一部助成を実施しており、郡内の医療機関で接種した場合は無償としている。



いつもきれいに使ってね

いじめと不登校の現況は

教育長 いじめは絶対にしてはならない

問 「いじめ」の現状と対策は。

答 10月末時点で小学校6件、中学校4件の合計10件。

「いじめは絶対にしてはならない」という指導と、教師の観察やタブレットを使った「心の健康調査」、月1回アンケートを実施し迅速に対応している。

問 「不登校」の現状と対策は。

答 小学校9名、中学校21名の合計30名。

「心の健康調査」により、不登校に至る前に気付くよう努めている。

異変があつたら教職員や専門員による本人・保護者との相談などを行い、「ケアハウス」の利用、中学校は校内の「学び支援教室」で過ごせるよう工夫し教室復帰を支援している。

国保税率引き下げで負担軽減を

町長 財源の安定を図るうえで考えにくい

問 国民健康保険事業は、2018年度から町と県との共同運営の保険となり、これまでの保険制度と大きく変わっているが、町国保事業への影響は。

答 これまで町が独自に財政運営してきたが、今後は県から示される「標準保険料率」及び「事業費納付金」を基に税率を定め、県に納付する仕組みに変わっている。

問 県の統一化により、今後かなりの国保税が

想定されるが、国の制度に問題があることを指摘する。

次に、現在検討されている「均等割」軽減の拡充についての町の対応は。

く、対象を18歳までに拡大し、均等割の免除を継続しているが、国の制度改正が施行されれば、当該経費にかかる財政支援が見込まれる。

問 サラリーマンの健康保険より高く設定されている国保税だが、被保険者の負担軽減のため、税率の引き下げ

は考えられないか。

家賃減免措置のさらなる延長を

町長 取り扱いを検討している

問 復興公営住宅の家賃減免措置のさらなる延長の考えは。

答 県内の被災自治体の動向を鑑み、取り扱いを検討している。

一方、復興公営住宅は東日本大震災などで住まいを失った被害者の生活再建を目的に建設した住宅であり、現在は空き家状況を見て、一般募集による入居も可能にしている。

問 復興公営住宅の家賃減免措置のさらなる延長の考えは。

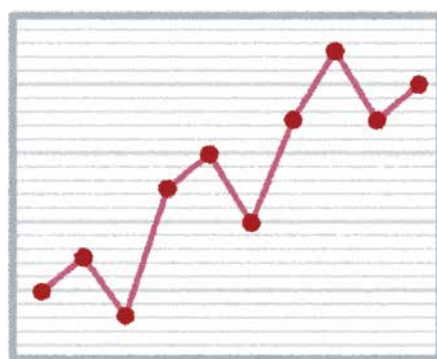
クマ対策について

クマの目撃情報による現場確認の結果、クマの痕跡は確認されていないが、生息地域や分布域など、科学的調査に基づいたクマ対策の対応を。



議員 遠藤 龍之

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



その他の議案

条例

- 山元町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（議案第44号）
山元町特定重要児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例（議案第54号）

【委員長報告】 審査の結果「可決すべきもの」

条例内容

国の「こども誰でも通園制度」の実施に伴い、町での運営について条例で定めたものです。
これにより我が町でも4月からスタートされます。

「こども誰でも通園制度とは」

- ・全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備します。
 - ・全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化します。
- ※保育所に通っていない0歳6ヶ月～満3歳未満が対象です。



施行期日 令和8年4月1日～

町の仕事をチェック!!

総務民生常任委員会

◇子育て環境整備

調査内容

「こども誰でも通園制度」を導入するにあたり、制度内容、町の対応予定及び新たに条例で規定する項目を調査した。

意見

制度制定後、専属職員2名の配置を見込んでいるが、人員不足が生じないように配慮されたい。
施設面積の確保も同様であり、利用者に対し従来の一時預かりとのすみわけを十分周知し、有効活用を図りたい。

産建教育常任委員会

◇学校施設整備

調査内容

児童生徒の学習の場であると同時に、災害時には避難所として活用される学校体育館の機能強化を目的とした冷暖房設備の整備計画について調査した。

意見

国の交付金を活用し事業を行う計画であるが、冷暖房設備の全国的な需要急増に備え、スケジュール管理を徹底するべきである。
熱効率の観点から窓の断熱化工事などが必要と考える。設計段階から留意し、効率的な施工を行うべきである。

議員のなり手不足対策調査特別委員会 活動報告

◇主な協議事項

委員会では調査・検討項目を整理し、結論や方向性をいつまで出すのかスケジュール案を作成しました。

また、議員のなり手不足解消と、議会の活性化を目的に報酬の見直しや定数の妥当性を検討するため、各種団体との意見交換会やアンケート調査などを実施する予定としました。

◇視察研修を行いました

○加美町・大和町議会

両町では、なり手不足対策・議員報酬の検討を、アンケート調査や町民による委員会を組織したうえで検討協議し、定数減・報酬増と改正しています。



加美町での視察研修

○巨理町議会

巨理町では、区長会の要請により議員定数・なり手不足対策・議員報酬を議会で協議しており、その一環として町民のアンケート調査を実施しています。

◇議員のなり手不足を考えるセミナーを開催します

日時 2月15日（日）

午後1時30分～

場所 山下地域交流センター

（ひだまりホール）

講師 河村 和徳 氏

（拓殖大学 教授）

町民の皆さまに町議会の現状をご理解いただき、議員のなり手不足解消のためにどのようなことを行えるかを考えていただくことを目的としてセミナーを開催します。

詳しくは、回覧チラシまたはホームページをご覧ください。



開催案内チラシ

第3回臨時会

12月24日に第3回議会臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

議案第66号 令和7年度山元町一般会計補正予算（第5号）

議案第67号 令和7年度山元町水道事業会計補正予算（第4号）

これらは、国の「強い経済を実現する総合経済対策」に基づき、物価高騰の影響を受けている町民や事業者を引き続き支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、各種支援に係る経費を追加計上したものです。

○町独自の支援策

- ・全町民に1人当たり1万円の商品券を配布……………1億2,945万円
- ・町民事業者に水道の基本料金を減免……………1,620万円
- ・農漁業者、運輸等業者に燃油高騰支援……………1,700万円
- ・福祉施設、医療機関等へ支援……………859万円
- ・児童手当支給対象の子ども1人当たり2万円を支給……………2,700万円

議員の会議等出欠状況

令和7年10月1日～12月31日 出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：－

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	
				竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	品堀栄洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	伊藤貞悦	菊地康彦	
10	2	木	石川県穴水町議会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
	3	金	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	
	6	月	議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	
	7	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10	金	亘理名取市町議会連絡協議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	14	火	加美町・大和町議会視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	15	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	木	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	
	21	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	—		
	22	水	総務民生常任委員会	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	—	—	
	23	木	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	
	28	火	県議会・市町村議会議員セミナー	○	—	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	
11	5	水	産建教育常任委員会	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	
	6	木	第24回山元町・新地町議会議員交流会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10	月	全員協議会	○	公	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	火	全員協議会	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	
			議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	
	12	木	町村議会議長全国大会（～11/13）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
	14	金	県議長会議会広報研究会	—	—	—	欠	—	○	○	○	—	—	○	—	
	19	水	県町村議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
	28	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—	
12	1	月	議会運営委員会	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	
	3	水	旧JR山下駅前トイレ撤去経緯等調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
			議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	
	第4回議会定例会（12/5～12）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17	水	議会議員のなり手不足対策調査特別委員会（亘理町議会視察研修含む）	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	
	19	金	仙南・亘理地方町議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
	22	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	23	火	議会運営委員会	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	
	24	水	第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—	

令和7年 第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第44号	山元町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例【P10に記載】	可 決 (全会一致)
議案第54号	山元町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例【P10に記載】	
議案第55号	山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案第56号	山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第57号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第58号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
議案第59号	山元町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例	
議案第60号	宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について	
議案第61号	令和7年度山元町一般会計補正予算（第4号）【P2に記載】	
議案第62号	令和7年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第63号	令和7年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第64号	令和7年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第65号	令和7年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）	

令和7年 第3回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第66号	令和7年度山元町一般会計補正予算（第5号）【P10に記載】	可 決 (全会一致)
議案第67号	令和7年度山元町水道事業会計補正予算（第4号）【P10に記載】	

○請願・陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第9号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	配 付

議長交際費

区 分	10月		11月		12月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
会 費	5,000	陸上自衛隊記念式典	－		19,000	仙南・亘理地方町議会議長会情報交換会など
慶 弔	－		－		－	
その他	12,232	穴水町議会視察研修対応物品など	－		3,850	視察研修時持参物品
合 計	17,232		－		22,850	

すきです
Yamamoto



太鼓とともに歩んだ26年

創作和太鼓集団 風雲 乱打舞 代表 伊藤 宏之

2000年9月1日、名前を考える。皆で案を持ち寄り、「らんだむ」と命名。年齢も性別も職業も色々な人が集えるという意味で、風雲は雲を突き抜ける龍のごとく、そんな意味をこめて名付けました。

今年の9月で26年目に突入したのですが、結成から今現在に至っても小学生、中学生などの児童生徒がいなかった時期が1日もないのです。そんな子ども達の力を受けながら今まで続けてこられた気がします。そして、そんな力をもらえる子ども達がいる間は頑張っ

て続けて行きたいとも思っています。最後に、ランダムな年齢の10代から50代までの中間世代が不足しております。経験不問、自信の有る無しに関わらず、興味のある方はぜひお問い合わせください。お待ちしております。



◆◆お知らせ◆◆

委員	委員	委員	副委員長	委員長
伊藤 貞悦	岩佐 秀一	品堀 栄洋	渡邊千恵美	丸子 直樹

〈議会広報・広聴常任委員会〉

令和8年 第1回山元町議会定例会 (予定)

会 期：2月27日(金)～3月19日(木)
開 会：午前10時
本会議：2月27日・3月3日・4日・6日・19日
(一般質問：3月3日・4日)

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

今回から、議会広報・広聴常任委員会の委員長を務めることとなりました。初めての委員長職となり、身の引き締まる思いです。委員会のメンバーも新しくなり、これから2年間、協力しながら誌面づくりに取り組んでまいります。

物価高騰や防災・減災への関心の高まりなど、私たちの暮らしを取り巻く状況は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、議会では何が話し合われ、どのような課題に向き合っているのかを、より身近に感じていただける広報を目指します。本誌が町政への理解を深める一助となれば幸いです。

(委員長 丸子 直樹)